

	<h1>みずみどり</h1>
<p>2012年 5月15日 第90号 発行：いたばし水と緑の会 事務局</p>	
<p>年会費 2,000 円 郵便振替 00170-8-352508 いたばし水と緑の会 <a href="http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/">http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/</a> E-mail : <a href="mailto:mizumidori@nifty.com">mizumidori@nifty.com</a> 〒174-0063 板橋区前野町 5-31-7 瀬田方 tel&amp;fax3969-7124</p>	

## 私を見た鳥たち

3月17日荒川生物生態園・中規模自然地で開かれた観察会「荒川の野鳥と水辺環境」(講師：いたばし野鳥クラブ栗林菊夫さん)はあいにくの雨でした。

残念ながらあまり鳥たちと会えませんでした。8種の鳥たちとあえました。ツグミ、シジュウカラ、カシラダカ、オオバン、ホオジロ、オオジュリン、ダイサギ、キジバトでした。



オオジュリン



オオバン

冬鳥として有名なのがカモ類ですが、(カルガモを除いて)この場所ではあまり見られないとのことでした。

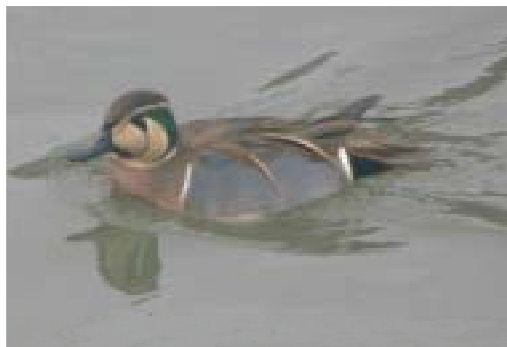
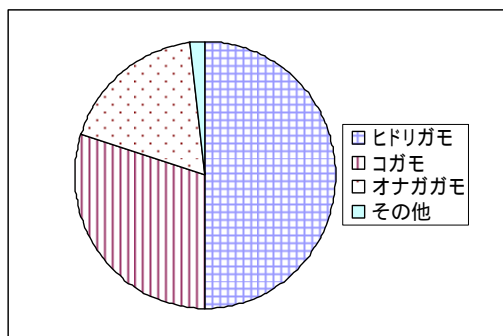
この場所では、オオタカやベニマシコが見られるそうです。鳥たちの環境では良い環境と言えるのではないのでしょうか？ 今回はあまり鳥がみられませんでした。晴れていたらまた違った種類が見られるでしょう。次に期待したいと思います。



観察会の様子。雨でも鳥探してます

しかし、残念だったのが見る環境です。整備されておらず野鳥を観察できる環境をすぐに整備するべきだと私は思います。

荒川にはカモ類があまり見られないということでしたが、私は新河岸川ではカモ類はカルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、コガモ、トモエガモを観察しています。その他にもカモ類はいるでしょう。



2012.3.7 トモエガモ

グラフは3月に観察した新河岸川のカモです。新河岸川に限らずシジュウカラやメジロ、キジバトなどは都会でも植木になんか目をやると見られます。一回、ご覧になっていただきたいです。

### 春の便り

さて、冬鳥が去ったあと鳥たちにも春がやってきます。東京では3月にはウグイスがさえずりはじめ、ツバメも渡ってきました。5月はもう営巣しているかもしれませんね。営巣といえば3月からカラスの営巣が始まっています。(私が見た記憶では)それ以前に営巣しているかもしれませんね。



上記の鳥ですが、どちらがメジロでどちらがウグイスかわかりますでしょうか？

正解は右がメジロで左がウグイスです。

カラーでないののでわかりにくいと思いますが、メジロはみどりっぽいですがウグイスは褐色です。こんなにも違う鳥なのです。ウグイスはみどりっぽい鳥だな~と思っていた方ごめんなさい。そ

れはメジロでした。メジロは結構、人前に現れますがウグイスは初めてという方が多いのではないのでしょうか？

### 鳥を見るときのマナーについて

鳥を見るときに限らずマナーがあります。そのマナーをこの場をかりて紹介していこうと思います。

人への配慮(観察が人の邪魔になる可能性があります。邪魔にならないよう心がけましょう)

交通の配慮(車からの撮影や駐車場など交通の流れを妨げないようにしましょう)

自然への配慮(林など分け入るのは止めましょう。ゴミを出すのはマナー違反です。)

動物への配慮(巣に近づきすぎないようにしましょう。フラッシュで生物を驚かせないように控えましょう。)

これらを守らないと生物たちが傷つきます。(例としてその場所に来なくなるとか)気をつけましょう!!

### 赤塚ため池とトンボ池のカワセミについて

去年はカメラを持った人たちがずいぶん来たようでしたね。今年は赤塚トンボ池にカワセミはくるのでしょうか？ ビオトープ自体変えてしまったというかビオトープの水を抜いて泥さらえをしたことにより魚が減少したと思われます。それを狙ってくる鳥がなくなったという例があるのでこないのではないかと推測されます。去年、私が見たのは3月の15日あたりでした。そのことを考えるともうそろそろ来てもおかしくないはずです。一応、留鳥になっているのでチャンスはあると思いますが、トンボ池にはさすがにこないのではないのでしょうか。情報求めます。



2011年3月15日のカワセミ君(赤塚溜池)

右は葛西臨海公園での野鳥観察です。

(石田 恭平)



## スズメの団地

スズメが少なくなったと言う話を聞きます。

以前住んでいたところは新宿区で全くのまち中でしたが、マンションのベランダに野鳥の水場（植木鉢の皿に水を入れただけ）を置き、植木鉢がごちゃごちゃあったので、スズメはよくやってきました。植物が枯れた植木鉢で砂浴びをするので、洗濯物が気になりましたが、気持ちよさそうに砂ぼこりを舞上げて羽をばたばたさせていました。また明け方チュンチュンという鳴き声で目が覚めると、それだけで幸せな気持ちになりました。板橋区中台に移ってから、ベランダ等であまりスズメを見かけませんが、環境が違うためかもしれません。



写真左上:スズメ通り  
写真右上:スズメ団地



ところが、今の季節、スズメがたくさんいる場所があります。私の朝の散歩コースで、若木通りから環8に行く狭い道があり、ここは20m程切り通しになっていて、両側がコンクリートの壁になっています。

左側の壁の上は舗装されていない半分空き地のような駐車場です。見苦しいという人がいるかもしれませんが、草が生えています。秋になるとエノコログサ等の穂が崖の金網の縁からのぞいています。スズメが群れて草にかじり付いて実を食べていたり、道路に落ちた実をついばみ、人が通るとパッと逃げたりします。舗装された道路に落ちた実は見つけやすいのでしょうか。

私がここを通るのは6時前後ですが、3月の末になると夜明けが早くなってスズメが活動をはじめる時間帯と私の散歩のタイミングが合うのか、賑やかなスズメの声に気づき、そろそろ繁殖の時期かなと思うと、右側の高い壁の水抜き穴にスズメが盛んに出入りしています。このたくさんある水抜き穴がスズメの巣、スズメの団地です。穴から枯れ草がのぞき、枯れ草をくわえて穴に入っていくスズメを見かけます（写真右）。

知らずに通る人には知らんぷりですが、離れていてもじ



っと見ると警戒するので、写真を撮るのも遠慮してしまい、写真の出来はよくありません。これだけの高い壁があっても、上が住宅で地面は舗装されているので、水抜き穴から水のしみ出しもなく、穴の中は乾いているのでしょう、絶好の住環境です。壁は高さ5mほどあり、穴は1.5m程の間隔ですが、縄張りなど気にせず、上の方の穴が全部使われています。巣材の枯れ草は向かい側の駐車場にたくさんあり、簡単に手に入ります。また水抜き穴の前に細い電線があり、巣から出て直ぐに電線に飛び移れるので、ヒナの巣立ち訓練にも便利にできています。この巣は、一回だけでなく、何度も使われるようです。去年は暑い日、この壁の下に死んだヒナが落ちていました。猪鼻さんによると、スズメは夏近くまで繁殖するそうなので、コンクリの住宅では熱中症になったヒナが死ぬこともあるようです。夏場には快適な住宅とは言えませんが、とにかくスズメのお宿があってよかったと思います。草が生えている駐車場は、私達の生活で考えると近くの食料品店ですね。

スズメは人家の瓦屋根や壁の隙間などに巣をつくり、繁殖期には虫を捕りますが、草食系で草の実等を食べるそうです。スズメと言えば収穫前の田んぼの米を群れになって食べに来るというイメージがありますが、日本におけるスズメ個体数減少の実態を調べた報告もあり、スズメの数は減っているようです。減った原因として、地上で植物の種を食べるスズメにとって、エサ場の水田、空き地、草原の減少と、巣を作る樹の洞や隙間の多い瓦屋根の木造住宅の減少があげられています。

マンションや気密性の高い住宅が増えたのは仕方がないかもしれませんが、せめてスズメの食料にもなる公園や道端の草は、生物多様性の観点からも大目に見てほしいと私は思います。

(坂本 郁子)

## 成増4丁目緑地樹林地調査の報告をまとめ みどりと公園課に提出しました

板橋区は、武蔵野台地の北端にあり、荒川低地との間には崖があって湧き水が出ている地形を特徴としています(崖には台地を刻む支流の崖もあります)。崖は、急斜面で北斜面であることが幸いして、開発されずに樹林地として残っているところもあり、板橋区はそういう樹林地を買収して公園にしてきました。しかし急斜面の樹林地を区民が利用する公園緑地にしたために、多くの森がかえって荒れる結果となっています。私達は崖にある公園樹林地を「安全に遊び、散策できる場所」としての活用ばかりでなく、大気の浄化、ヒートアイランド現象の緩和、雨水を保水し雨と土砂の流出を抑制しかつ湧水を涵養する効果、生物の生息環境等々、環境保全の観点から見直し、次世代に残したい板橋区の自然財産として位置づけ、管理してほしいと要望してきましたが、理解していただけませんでした。

そこで、私達は2009年5月から2010年12月にかけて、毎月1回成増4丁目緑地(と隣接する民間樹林地)(成増4-34)の調査をしました。ここは白子川の崖にあたり、北向きの急斜面の(したがってあまり人が利用しない)樹林地です。調査した目的は、遊んだり散策したりする

公園緑地としてではなく、別の価値観で森を見直し、どうしたらよいか、区に提案するためです。

成増4丁目緑地を選んだ理由は、板橋区が保有する崖線樹林地の多くが、公園として園路等整備され、植栽された中で、ここは比較的元の姿に近く、自然地として残せる数少ない樹林地の一つと考えたからです。

私達は斜面の上から下まで幅10mの区間の植物(中高木、低木、草本)を記録し、見かけた生き物、地面の状況、管理の状況、利用状況等を観察しました。公有地である成増4丁目緑地の隣に民間の樹林地があり(当然人も立ち入らないし、管理の手もあまり入っていない)、二つの樹林地を比較調査しました。その結果を提案としてまとめ、4月はじめ板橋区みどりと公園課に送りました。詳しいことはいたばし水と緑の会ホームページをご覧ください。

広報いたばしで、板橋区が23年度にこの民間樹林地を買収し、全体として0.41ヘクタールを特別緑地保全地区に指定したことを知りました。貴重な樹林地を保全するためと書いてありましたが、言葉だけでなく、保全するために、私達のささやかな調査結果も考慮してほしいと願っています(坂本 郁子)。



写真の説明：写真左上と右上は成増4丁目緑地。公園管理によって低木下草を刈り続けたため草も生えない地面があちこちにある。これが、よく手入れされたすっきりした公園なのだろうか。写真左上の左奥は緑地の中央につくられた木道だが、ほとんど利用されず、ただ木道の整備工事によって森を荒廃させただけのように思える。写真左下は、買収したばかりの樹林地。公有地になるとそっとしておくことは出来ないのだろうか、心配である。右下は斜面下の草地(草刈後)。

## 観察と活動の記録

**3月17日(土) 10:00~12:00** 荒川野鳥観察と水辺環境(講師:いたばし野鳥クラブ 栗林 菊夫 エコポリスセンター共催)

**3月24日(土) 10:00~12:00** バッタ広場柵づくり

赤塚公園サービスセンターより、杭とロープの提供を受けてバッタ広場の柵を作り直すことになった。天気予報が狂って小雨の中、センターの宮崎さんから杭の打ち方等の指導を受けて、予定していた25本の杭打ち1時間ほどで終了。セイトカアワダチソウ抜き取り、ササ刈。

トンボ池にカエルの卵有り。ミニトンボ池にカエルの卵(5腹あり)

**4月21日(土) 10:00~12:00** バッタ広場柵の杭打ち

ゴマダラチョウ幼虫、ツマグロオオヨコバイ、ノボロギク、タチイヌノフグリ、ヤブジラミ、オオマツヨイグサ、ナズナ花、タンポポ(カントウタンポポもあり、セイヨウタンポポと交雑種)、セイトカアワダチソウ抜き取り、ササ刈、

トンボ池湧水流入なく干上がり気味でオタマジャクシ多数確認。ミニトンボ池卵が孵っている。

**4月28日(土) 10:00~12:00**

バッタ広場の柵(完成、写真右)。セイトカアワダチソウの抜き取りとササ刈作業。シブイロカヤキリモドキ(めずらしいものらしい)、アオオサムシ、クビキリ、チャバネアオカメムシ、キチョウ、キタテハ、コムスジ、いろいろなクモ多数、ゴマダラチョウ幼虫と蛹、トラフコメツキ

城址にはアオゲラ(営巣している)オオルリ、キビタキと野鳥のカメラマンが数人。トンボ池にオタマジャクシ多数(今年はヘド口除去

のため池を干し上げたあと、湧水が水路途中で途絶えているため池の水位は低く干上がり状態なので子ども達が捕まえにくいためらしい。例年では卵はすぐに消失してしまう) 投げ込まれたフナの死骸、ミニトンボ池にもオタマジャクシ多数

**4月28日(土) 13:00~15:00** 24年度(第16回)総会



写真左:シブイロカヤキリモドキ  
写真右:トンボ池のオタマジャクシ



# 活動のお知らせ

**運営委員会**：7月21日(土) 12:30～13:30

作業・観察会の後に赤塚ため池公園そばのラーメン「しらかば」で行い、報告や活動内容などを相談します。午前中の作業の状況で時間が多少ずれることがあります。雨天でもご参加下さい。

連絡先；坂本(090-4618-1295)

**会報の印刷・発送は奇数月。お手伝いできる方はよろしく**

日時：7月21日(土) 12:30～

**活動の問い合わせは事務局 瀬田(3969-7124)まで**

**成増1丁目向新田の森 観察会と下草刈**(雨天の場合は6月16日)

5月26日(土) 10時15分に現地集合(川越街道沿いの和光市との境界にある森で、「ニトリ」の東側(板橋側)。場所がわからない人は事務局に事前に連絡下さい。

**赤塚ビオトープの観察と環境整備**(雨天の場合は観察とゴミ拾い)

**飲み物、軍手、タオル、汚れてもよい服装。カメラ、ルーペ、双眼鏡、図鑑等があると楽しい**

6月16日(土) 10:00～12:00 ササ刈等を中心に

6月23日(土) 10:00～12:00

バッタ広場の樹木を70cm程に切り詰め、オギが大きくなるようこの季節に根元で切ります。セイタカアワダチソウ等帰化植物の抜き取りとアズマネザサの刈り取り。

7月14日(土) バッタ広場植物調査

バッタ広場定点調査(南北に糸を張ってその線上に生えている植物を観察記録します。

7月21日(土) 帰化植物抜き取り、ササの刈り取り。

集合場所：いずれも赤塚トンボ池(板橋美術館そば)

**日暮台公園樹林地観察会(原則として第1土曜日)(樹林地内の推移と林縁植物を観察)**

6月 2日(土) 10:00～11:00 日暮台公園前集合

7月 7日(土) 10:00～11:00 日暮台公園前集合

## ビオトープ管理のボランティア大歓迎

生き物のすめる草地(バッタ広場)などの管理作業を応援していただけませんか。

大きくなった木を切ったり、セイタカアワダチソウなどの外来植物や生育旺盛なササを刈り取ったりしています。

あなたも会員になってください(年会費2000円：振込先は表紙に記載)